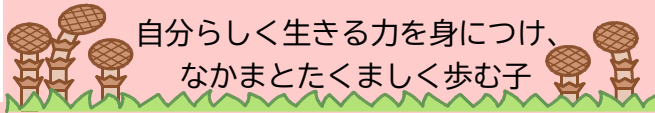




TOGO! だより



自分らしく生きる力を身につけ、
なかまとたくましく歩む子

福井市東郷小学校 学校だより
令和5年2月3日 第33号
TEL 41-0003 FAX 41-0974
Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

2/3(金) 全校朝礼(TV放送)でのお話より

「一人でやる」ということについて、考えています。友だちと仲良く遊んだり、一緒に何かを考えたり、学校生活ではそういう場面がたくさんあります。でも、学校は、「みんなと」「一緒に」だけのところでしょうか。

違いますよね。実際は、「一人で考える」「一人でやる」ことの方が、もしかしたらとても多いところかも知れません。

授業で、先生から出された課題に対して、まずは一人でじっくりと向き合い、自分なりの考えを必死でひねり出すとき。校長先生は、中学校3年生の担任をしていたとき、国語の授業で生徒たちにある課題を出しました。その課題に一人で必死に取り組んだ生徒たち、1時間では足りなくて、なんと自分たちから「もう1時間、一人で考える時間がほしい」と言ってきました。私の答えはもちろん OK です。その後の授業は、素晴らしい意見発表の連続で、大人の私が「なるほど」とうなったり、感心したりの連続でした。

体育で、跳び箱や縄跳びなどの個人技に挑むとき。友だちや先生からのアドバイスを聞くことはあると思います。でも、跳ぶときは、一人です。ドキドキする気持ちを必死でこらえながら、「次こそは跳んでやる」と、覚悟を決めて跳び箱に向かっていくのは、自分一人です。「絶対に二重跳びを跳べるようになってみせる」と、引っかかっても引っかかっても次を跳ぶのは、自分一人です。



「一人で考える」「一人でやる」のはなぜですか。その答えは、自分で考えて出してください。ただ、「一人でできる」人は、強いです。結果はどうであれ、一人でやり抜いた自分に納得しているからです。そんな自分に満足できて、それが自信となるからです。私は、「一人でやる」ことができる人を、子どもでも大人でも、尊敬します。

「みんなで作る」ということについて、考えています。先ほども言ったように、学校生活では「みんなで作る」ことがあります。

どうして「みんなで作る」のでしょうか。その答えは、みなさんで考えて出してください。6年生よ、今こそみんなで作ってほしい。

卒業まであと26日となったみなさんには、まだ「みんなで作る」チャンスが残されています。それは、実はとても幸せなこと。6年間、同じ学び舎で育ち、様々なことを共に経験してきた45名です。うまくするために必要なのは練習かも知れないけれど、一つになるのに必要なのは、練習ではありません。「心」一つで、全てが変わります。



きっと、卒業式では、全校児童が「みんなで作る」ことを、つまり6年生を心をこめて送ることをやってくれるでしょう。集団登校で、たてわり班で、運動会で、委員会で、クラブで、150周年式典で、いろいろな場面でお世話になった6年生に向けて。私は、「みんなで作る」人を、子どもでも大人でも、尊敬します。